

(ハ) 自ら顧客やビジネスを創出できる人材の育成
ビジネス創出人材育成 参加者募集のご案内

受講料無料

- ・新事業開発や既存事業の高度化・付加価値向上を意図した実践型研修
- ・中核人材に不可欠な「実践的なビジネス感覚」や「事業検討の経験値」を体得
 ⇒「DX推進スキル標準」に準じた高度かつ実践的なビジネス基礎素養を育成

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）では、「地域高度 IT 技術者育成事業（宮城県委託）」を実施します。このうち「ビジネス創出人材育成研修」について参加者を募集します。

＜研修の特色＞

- ・“DX推進スキル標準”の中でも学ぶ機会の限られる実践的な「ビジネスデザイン」を学べる研修
- ・新事業や既存事業の再定義を通じた商品サービスチラシなどの“使えるアウトプット”を形成
- ・将来的に自社の経営方針やDX推進戦略等を打ち出せるような高度なビジネス基礎素養を育成



事業企画やビジネスモデル形成などの創造性が求められる内容は一人で考えてもとまらないのが普通です。ディスカッションをすることで具体的な内容が醸成され、現実的な提案を形成していくきっかけになります。DX 戦略推進も視野に入れた事業の高度化・変革につなげる体験することが、本研修最大の狙いです。

- 対 象：地域企業の中核人材、管理職の方など（MISA 会員の有無・業種は問わず）
- 主 催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）（宮城県委託事業）
- 参加負担金：なし（無料） 宮城県委託事業のため
- 開催期間（2023 年）：8/21（月）～12/21（木） 3 時間×4 回×3 コース（合計 12 回）
 ※原則として3コースの通し参加としますが、各回の業務都合による遅参・欠席については柔軟に対応します。
- 場 所：オンライン（各コース最終日程のみ参加者同士の交流を図る観点から集合で開催）
- 募集人員：若干社（先着順） 1 社から複数名以上の参加可
 ※1社から複数名での参加（複数名での交代参加を含む）もできます。1社から複数名参加の方が課外実習負荷の軽減や社内での共通知形成など効果的な側面がありますので、可能であれば複数参加も推奨します。
 ※予定社数に達し次第予告なく募集を締め切りますのであらかじめご了承ください。
- お申込み：別紙の申込書に必要事項を記入の上、MISA 事務局宛にお申込みください。
 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会（MISA） 事務局
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-1 O EARTH BLUE 仙台勾当台ビル 5F
 TEL : 022-217-3023 E-mail : misa@misa.or.jp

【課外実習について】

- 期待アウトプット：
 - 自社環境分析、事業戦略／DX戦略の検討資料（SWOT 分析／ビジネスモデルキャンバスなど）
 - 自社における事業計画書（自社既存事業の見直し／新事業展開／DX戦略推進など）
 - 自社製品・サービス（受託サービスを含む）・DX 推進等の提案資料、PR チラシなど
- ・原則として自社事業（自社による提案活動等を含む）をテーマとした事業企画を実践
 ⇒各企業の業態、事業内容、目指すべき方向性などにより期待アウトプットが異なることを前提

(ハ) 自ら顧客やビジネスを創出できる人材の育成 【オンライン/集合開催】

全ての日程において業務都合による欠席（歯抜け出席）・遅参可

- ◆研修の目的をアウトプットの形成に置くため、研修の欠席と研修の成果は必ずしも直結しません。本研修は各企業の“忙しい中核人材”の参加を想定し、各コース共に業務都合等による遅参・欠席については柔軟に対応します。
- ◆必要に応じて課外実習の個別フォローを行い、アウトプットの確実な形成を目指します。
- ◆集合研修は MISA 事務局などの仙台市中心部を会場とします。
- ◆委託元の宮城県庁の意向により、一部コースの選択受講は「不可」となります(通し受講が原則必須)

商品・サービス企画コース

【アウトプット】 事業戦略企画案または DX 戦略企画案（紙 1 枚～2 枚程度）

計画日程（延べ3日間）	内容
8/21(月)、9/1(金)、 9/11(月)、 9/22(金)【集合】 14:00～17:00 ◆3h×4回＝2日間相当	社会経済環境の変化とそれを取り巻く自社の内外部分析を行った上で、自社で実現可能かつ自社の方向性を踏まえた新しい商品・サービス（受託サービスを含む）展開の方向性を明確化します。 【キーワード】 内外環境分析、実現可能性を踏まえた企画案(アイデアシート) 競合分析、ポジショニング分析、DX 推進スキル標準と事業企画 【ゲスト講師】 経営系の専門家など(“大局的にビジネスを俯瞰できる方”)
課外実習（1日間相当） ⇒ファシリテーターの役割	自社の強み・弱みの分析、自社の客観視、自社の目指すべき方向性の検討 ⇒分析の視点や見方についてヒント出しや添削を行います。

ビジネスモデル企画コース

【アウトプット】 事業計画書/DX 戦略推進企画書、収支計画書（紙5枚～6枚程度）

計画日程（延べ3日間）	内容
9/29(金)、10/13(金) 10/20(金)、 10/27(金)【集合】 14:00～17:00 ◆3h×4回＝2日間相当	◆商品・サービス、または受託案件の増加をテーマとし、ビジネスモデルやマーケティング戦略の企画検討及びリサーチを実施。 【キーワード】 事業計画書、DX 戦略企画書 (BM キャンパス/ピクト図、ポンチ絵 etc) 収支計画書（自動計算フォーマットを配布） 【ゲスト講師】 参加各企業の事業テーマを勘案し、実務家などを招聘
課外実習（1日間相当） ⇒ファシリテーターの役割	自社事業を発展させていく上での事業展開像（ビジネスモデル）の検討 ⇒各種リサーチの支援、企画案の方向性の検討支援を行います。

マーケティング実践コース

【アウトプット】 社内外への提案書、製品・サービスのカタログ/チラシ等（各社により異なる）

計画日程（延べ3日間）	内容
11/17(金)、12/1(金) 12/8(金)、12/21(木)【集合】 14:00～17:00 ◆3h×4回＝2日間相当	◆具体的な提案活動を展開する上で必要となる企画提案書の作成を実施。 (各社の個別事情を勘案し、企画提案書のフォーマットを個別に決定) 【キーワード】 ソリューション提案、補助金・競争的資金の企画提案書 自社チラシ/カタログ、営業の進め方、チャネル形成 生成 AI の活用 (ChatGPT など) 【ゲスト講師】 参加各企業の事業テーマを勘案し、実務家などを招聘
課外実習（1日間相当） ⇒ファシリテーターの役割	各社で使える実践的なアウトプット資料の策定 ⇒各参加者の目的に応じた提案資料等のアウトプット策定を支援

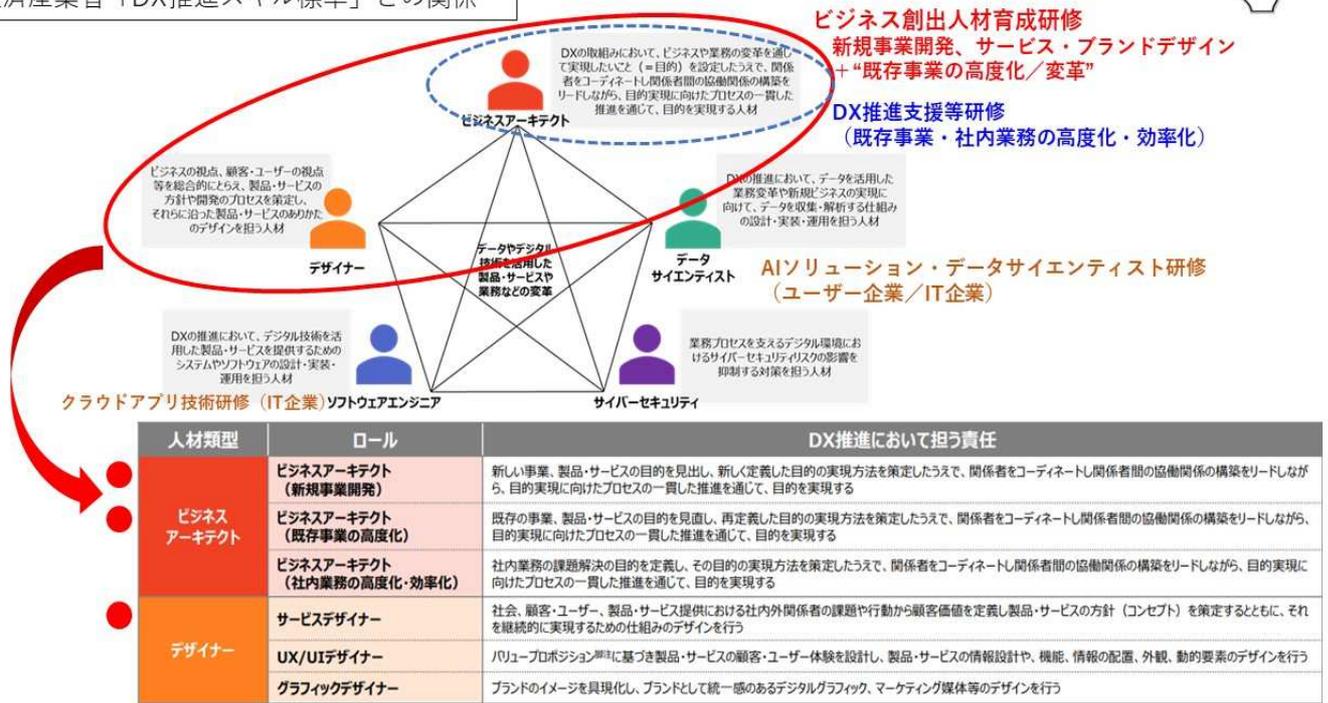
各日程は計画日程です。ゲスト講師や各受講者の都合により開催日程を柔軟に変更する場合があります

宮城県委託「地域高度デジタル人材育成業務」
経済産業省「DX推進スキル標準」との関係

経済産業省「デジタルスキル標準」より抜粋

デジタルスキル標準

検索



本研修は経済産業省デジタルスキル標準の中で定義された“DX 推進スキル標準”において、
・ビジネスアーキテクトの「新事業開発」「既存事業の高度化」 ・デザイナーの「サービスデザイン」
の内容に該当します。
(既存業務の課題発掘、業務改善や生産性向上は別研修の「DX推進支援等研修」で対応)

【参考】昨年度の本研修への参加者の声(抜粋)

- ・ ビジネス創造に向けて実際に必要な内容に絞った講義、かつワークに重点を置いた研修内容だったことが良かった。
- ・ 講師からのフィードバックだけでなく、他社参加者からの意見なども頂けたことで、自分たちの会社だけでは気が付きにくい観点に気付いたり、他社と同じような考えであることが分かったりと、よくある講義メインの研修では経験できないことが経験できた。
- ・ 書籍やネット検索だと「読んだ=わかった」つもりになっていましたが、実践的な講習と、各社様のレビューで複数、多角的な解説があり非常によく、参加できて良かったです。
- ・ 多面的な考え、調査結果をもとにした事業計画の講義が重要であったと感じています。技術論が全面に出た内容が、全く違う提案書になり自分でも驚いております
- ・ 演習の内容も、実際に企画を推進していく際に必要になるものだと思いますので良いと思いました。
- ・ 前提知識や周辺知識がないなかでも内容が理解できた。手法の勉強ではなく、その手法を実践してみることが主だったので、次の機会には自分だけでも導入してみることができそう。
- ・ 経営やマーケティングについて、適切な順番で説明していただき会社の分析、経営方針を順序立てて決めることができたので、効率よく学習ができたと思います。

■研修受講環境について

- ・ オンライン研修は Zoom/Slack を利用します。本研修は双方向のディスカッション主体型研修であるため、研修内で参加者に発言いただく機会も多々あります。受講にあたっては社内会議室やご自宅等の専用の受講場所からの参加を原則とし、共用オフィスからのヘッドセットを用いた参加は原則不可とします。
- ・ 1社から複数以上のメンバーで参加の場合は、社内会議室に集まっての参加を推奨します(社内会議室をサテライト拠点とみなして研修を運営します)。ただし在宅勤務を推奨している会社はこの限りではありません。

■守秘義務・知財の扱い

各社アウトプットの相互評価を行う関係上、研修の中では相互に各社の情報を共有することが必須となりますので、あらかじめその旨をご理解の上で参加ください(必要に応じて**固有名詞などを匿名化していただくことは可**)。また、**研修内で相互に知り得た情報の研修以外での利用は不可である旨をご理解いただくことが参加条件となります。**

■講師(ファシリテーター)

- ・ 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA) 事務局 企画プロデューサー 庄子 栄光
(宮城県「みやぎ認定 IT 商品」派遣専門家)
- ・ 株式会社仙台情報サービス 代表取締役 佐藤 元
(宮城県「みやぎ認定 IT 商品」派遣専門家、宮城県中小企業等デジタル化支援事業補助金アドバイザー)

⇒本研修は各企業の環境分析や事業機会そのものの掘り起こし(企画)から行う点が特色です。これまで気が付かなかった自社の強みや新たな方向性を見出し、これらに気づきを持つことが研修の大きな狙いの一つです。この手の研修はいわゆる“課題ありき”で解決策を考えることがミッションである経営の専門家に依頼するのが難しいため、MISA 事務局の本委託事業担当者の直営研修とし、実務的な観点から研修を展開することとしております。

★研修お申し込み・受講にあたって(必ずご確認の上でお申し込みください)

本研修は宮城県委託事業であり民間の研修サービスではありません。委託事業としての成果は「研修受講後の受講者の皆様の定着」にあるため、受講にあたっては以下の点を承諾頂く必要があります。

- ① 受講者の途中での代替・代理受講は不可
研修受講者毎に定着状況調査を行うため、途中での**受講者の一部代替受講や代理受講は不可**です。
- ② 研修終了後の受講者理解度満足度調査への協力が必須
各研修の終了時に各受講者に対して提出の案内をいたします。催促しても未提出が続くなどの事象が発生した場合、研修窓口ご担当者へ連絡し社内で善処いただく場合があります。
- ③ 宮城県委託事業としての追跡調査への協力が必須
受講後に行う追跡調査(受講者の在職状況の調査)に協力いただくことが本研修受講の条件となります。追跡調査は本研修実施後に3カ年にわたって毎年9月頃に原則としてメールで行います。窓口ご担当者に対するメールでの在職状況の確認のみとなりますので、それ自体にご負担のかかるものではありません。

本研修以外にも、ビジネス創出、AIソリューション、データサイエンス、中堅層向け技術研修など様々な研修を宮城県委託事業として実施しています。

各研修については MISA ホームページでご案内しておりますので、ぜひご参照ください。

<https://www.misa.or.jp/>